

2019 年度
(第 5 期)
事 業 報 告 書

自 2019 年 1 月 1 日

至 2019 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2019 年度（第 5 期）事業報告書

1. 事業の概況

当財団は、医学・薬学・看護学・社会福祉学の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者および介護福祉従事者の育成を支援することにより、地域医療を振興し、以って、国民とりわけ高齢者の健康と福祉の増進に寄与することを目的に掲げております。

2025 年には団塊の世代が全て 75 歳以上となり、さらに、2035 年には団塊ジュニアが 65 歳以上となることから、高齢者の全人口に占める割合がますます高まっていくことが予想されており、国民とりわけ高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を継続することができる環境を整えるに際して、地域医療の振興の領域は、単に医療・介護サービスの提供体制の構築に止まらず、健康の保持増進や介護予防といった健康寿命の延伸に資する取り組み、さらに地域共生社会の実現にまで広がりを見せております。

このような状況のなかで、当財団は、当事業年度において、以下の事業を実施いたしました。

(1) 助成・褒賞事業（公 1）

助成・褒賞事業では、定款第 4 条第 1 項第 1 号に定める「地域医療の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞」として、杉浦地域医療振興助成（以下「杉浦助成」といいます。）と杉浦地域医療振興賞（以下「杉浦賞」といいます。）の授与を以下のとおり実施いたしました。

A. 第 8 回杉浦地域医療振興助成

助成の対象	地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体で、今後より有意義な活動や研究の成果が期待されるもの
募集・選考結果	募集期間 : 2019 年 1 月 1 日から同年 2 月 28 日まで 応募数 : 144 件（研究分野 83 件、活動分野 61 件） 助成授与数 : 22 件（研究分野 9 件、活動分野 13 件） 助成額 : 総額 19,950,028 円 （研究分野 14,180,588 円、活動分野 5,769,440 円）
授与式等	2019 年 7 月 18 日に帝国ホテル東京にて、第 8 回杉浦助成の授与式と第 7 回杉浦助成の成果発表会を実施いたしました。

B. 第 8 回杉浦地域医療振興賞

褒賞対象	地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人
募集・選考結果	募集期間 : 2018 年 10 月 1 日から同年 12 月 31 日まで 応募数 : 33 編 褒賞授与数 : 5 編 褒賞内容 : 表彰盾及び副賞 2,000,000 円（総額 10,000,000 円）
授与式	2019 年 7 月 18 日に帝国ホテル東京にて、第 8 回杉浦賞の授与式を実施いたしました。

第8回杉浦地域医療振興助成の選考委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	伴 信太郎	愛知医科大学 医学教育センター センター長 特任教授
委員	網岡 克雄	金城学院大学 薬学部 社会薬学 教授
委員	雨師 みよ子	一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会 副会長 ／公益社団法人大阪介護支援専門員協会 監事
委員	安藤 明夫	中日新聞編集委員（医療担当）
委員	安東 直紀	安田女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 准教授
委員	上野 桂子	社会福祉法人聖隷福祉事業団 監事／一般社団法人全 国訪問看護事業協会 副会長
委員	遠藤 英俊	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 内科総 合診療部長 長寿医療研修センター長
委員	大原 弘隆	名古屋市立大学大学院 地域医療教育学 教授／名古 屋市病院局 局長
委員	小林 智晴	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部 長
委員	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
委員	澤登 久雄	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえ あいセンター センター長／おおた高齢者見守りネッ トワーク 発起人
委員	塩川 満	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院 薬剤部 長
委員	白澤 政和	国際医療福祉大学大学院 教授
委員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長 ／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
委員	田中 雅子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレ ッジ 教授
委員	平井 みどり	兵庫県赤十字血液センター長
委員	平野 隆之	日本福祉大学 社会福祉学部 教授
委員	山中 崇	東京大学 医学部 在宅医療学拠点 特任准教授

（注）五十音順で記載しております。

第8回杉浦地域医療振興賞の審査委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総 長／日本福祉大学 常務理事
委員	秋山 弘子	東京大学 名誉教授／一般社団法人高齢社会共創セン ター センター長
委員	柴田 博	桜美林大学 名誉教授／一般社団法人日本応用老年学 会 理事長
委員	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
委員	久常 節子	元 公益社団法人日本看護協会 会長

（注）五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（助成・褒賞事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	0	400,338	400,338
その他雑収益	0	400,338	400,338
経常収益計	0	400,338	400,338
(2) 経常費用			
事業費	40,372,400	39,496,979	△875,421
消耗品費	25,000	3,001	△21,999
印刷製本費	1,440,000	1,726,196	286,196
その他	1,440,000	1,726,196	286,196
諸謝金	1,700,000	900,000	△800,000
選考委員謝礼	1,700,000	900,000	△800,000
支払手数料	0	700	700
その他	0	700	700
租税公課	642,400	643,677	1,277
支払助成金	20,000,000	19,950,028	△49,972
支払寄付金	10,000,000	10,000,000	0
広告宣伝費	260,000	149,708	△110,292
会議費	4,081,000	3,929,959	△151,041
助成・褒賞贈呈式会議費用	3,731,000	3,651,520	△79,480
選考委員会議費用	350,000	194,902	△155,098
その他	0	83,537	83,537
旅費交通費	2,124,000	1,982,777	△141,223
選考委員旅費交通費	599,000	339,933	△259,067
贈呈式参加者旅費交通費	1,125,000	1,146,680	21,680
その他	400,000	496,164	96,164
通信運搬費	100,000	210,933	110,933
経常費用計	40,372,400	39,496,979	△875,421
評価損益等調整前当期経常増減額	△40,372,400	△39,096,641	1,275,759
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△40,372,400	△39,096,641	1,275,759

経常収益は40万円で、これは、過年度の杉浦助成授与対象者からの余剰金返還額を雑収益に計上したものであります。

また、経常費用は3,950万円で、予算比△88万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 報告集の作成部数増により、印刷製本費が予算を上回ったこと（+29万円）
- 消耗品費、諸謝金、支払助成金、広告宣伝費、会議費、旅費交通費が想定を下回ったこと（△127万円）、また、通信運搬費等が想定を上回ったこと（+11万円）

(2) 調査・研究事業 (公2)

調査・研究事業では、定款第4条第1項第2号に定める「地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画」として、以下の研究会等を運営いたしました。

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会では、都市に住む高齢者が住み慣れた地域に住み続けることを前提に、これを支援する多職種協働のあるべき姿を追究しており、当事業年度は6回開催いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

【第3期：常に進化し続ける地域包括ケアシステムの概念と実態】

	開催日	テーマ／講師
第6回	2019年 1月24日 (木)	グッドデザイン賞をいただきました「ナラティブブック秋田」を主題として地域包括医療における他職種の関わり方とナラティブブック(クラウドシステム)を活用した情報共有／岡崎 光洋(東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学寄附講座 特任研究員)
第7回	2019年 3月7日 (木)	日本人の「互助」を軸にした「見守り合える街作り」／高原 達也(一般社団法人セーフティネットリンケージ 代表理事)

【第4期：地域包括ケアシステムの深化～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～】

	開催日	テーマ／講師
第1回	2019年 5月9日 (木)	看護小規模多機能型居宅介護サービスの現状と今後の展望／齋藤 訓子(公益社団法人日本看護協会 副会長)
第2回	2019年 7月11日 (木)	ファミリー・ホスピス®の可能性／高橋 正(日本ホスピスホールディングス株式会社 代表取締役社長)
第3回	2019年 9月12日 (木)	互助の都会版／村上 芳子(福祉クラブ生活協同組合 共育マネジャー)
第4回	2019年 11月14日 (木)	「食」を通じたコミュニティづくりの大きな可能性～食支援の意義について考える～ 平野 覚治(一般社団法人全国食支援活動協力会(ミールズ・オン・ホイールズ日本協会) 専務理事)

また、都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集 Vol.5 を発行し、無償にて1,500部配布いたしました。概要は、以下のとおりです。

- はじめに 埼玉県立大学 理事長 田中 滋
- 第1章 地域の力が結集する産学官の地域包括ケア
愛知県豊明市 健康福祉部 高齢者福祉課(現 健康長寿課) 課長補佐 松本 小牧
- 第2章 地域包括ケアの取組みについて
一岐阜県大垣市の事例一
岐阜県大垣市 福祉部 社会福祉課 課長 篠田 浩



- 第3章 介護予防事業等を通じた予防理学療法の活用効果に関する寝屋川市との共同プロジェクトについて
医療経済研究機構 研究部 主任研究員 兼 研究総務部 次長
さわやか福祉財団 研究アドバイザー 服部 真治
- 第4章 大田区における高齢者福祉施策
東京都大田区 福祉部 高齢福祉課 課長 堀 恵子
- 第5章 川崎市における地域包括ケアシステムの構築
神奈川県川崎市 健康福祉局 地域包括ケア推進室 室長 宮脇 護

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
副座長	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
副座長	宮島 渡	社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事／高齢者総合福祉施設アザレアさんだ 総合施設長
副座長	秋山 正子	株式会社ケアーズ 代表取締役 白十字訪問看護ステーション 統括所長 暮らしの保健室 室長
アドバイザー	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
アドバイザー	宮島 俊彦	岡山大学 客員教授
アドバイザー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事
会員	朝田 隆	医療法人社団創知会 理事長 メモリークリニックお茶の水 院長／東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター 特任教授
会員	阿部 智子	訪問看護ステーションけせら 管理者
会員	栗田 圭一	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所
会員	石山 麗子	国際医療福祉大学大学院 教授
会員	板谷 匠	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室 室長 リハビリステーション部 部長
会員	伊藤 善典	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授
会員	上田 恵子	公益財団法人さわやか財団
会員	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
会員	大木 一正	有限会社クリーン薬局 代表取締役
会員	大澤 光司	株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長
会員	岡田 太造	兵庫県立大学 大学院経営研究科 客員教授
会員	岡本 茂雄	国立研究開発法人産業技術総合研究所 招聘研究員

役名	氏名	所属・役職
会 員	勝又 浜子	公益社団法人日本看護協会 専務理事
会 員	川越 正平	あおぞら診療所 院長
会 員	木全 真理	東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教
会 員	小玉 剛	公益社団法人日本歯科医師会 常務理事
会 員	後藤 恵子	東京理科大学 薬学部 薬学科 健康心理学研究室 教授
会 員	澤登 久雄	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長／おおた高齢者見守りネットワーク 発起人
会 員	椎名 美恵子	有限会社ふれすか 代表取締役 訪問看護ステーションみけ 所長
会 員	柴田 範子	特定非営利活動法人楽 理事長
会 員	清水 まや	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室 副室長 薬剤部課長
会 員	助川 未枝保	社会福祉法人六親会 船橋市三山・田喜野井地域包括支援センター センター長
会 員	高砂 裕子	一般社団法人南区医師会 南医師会訪問看護ステーション 管理者
会 員	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅財団 特別顧問／東京通信大学 教授
会 員	竹林 洋一	静岡大学 創造科学技術大学院 特任教授
会 員	都築 真哉	社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長
会 員	鶴山 芳子	公益財団法人さわやか財団 理事
会 員	長尾 和宏	医療法人社団裕和会 理事長 長尾クリニック 院長
会 員	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長 新田クリニック 院長
会 員	野中 久美子	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員
会 員	馬袋 秀男	一般社団法人「民間事業の質を高める」全国介護事業者協議会 特別理事
会 員	日栄 優	社会福祉法人京都福祉サービス協会西京事務所 所長
会 員	藤田 正之	医療法人仁医会 理事 西尾市地域包括支援センター西尾 センター長
会 員	藤原 佳典	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健健康チームリーダー・研究部長
会 員	船木 良真	医療法人三つ葉 理事長
会 員	古都 賢一	社会福祉法人全国社会福祉協議会 副会長
会 員	宮路 博	社会福祉法人京都福祉サービス協会 居宅本部 副本部長

役名	氏名	所属・役職
会 員	山村 由美子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 こぶし24時間ケアサービスステーション リーダー
会 員	山下 和彦	医療法人社団至高会 たかせクリニック 地域医療研究部 部長 工学博士
会 員	山下 知子	医療法人社団至高会 たかせクリニック
会 員	吉井 靖子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
会 員	吉江 悟	東京大学高齢社会総合研究機構／一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事
オブザーバー	濱谷 浩樹	厚生労働省 老健局長
オブザーバー	込山 愛郎	厚生労働省 保険局 高齢者医療課長
オブザーバー	尾崎 守正	厚生労働省 老健局 振興課長

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 A）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	7,121,640	6,970,355	△151,285
消耗品費	0	3,300	3,300
印刷製本費	2,962,000	2,950,000	△12,000
その他	2,962,000	2,950,000	△12,000
諸謝金	660,000	652,728	△7,272
セミナー講師謝礼	480,000	472,728	△7,272
その他	180,000	180,000	0
租税公課	478,640	484,094	5,454
会議費	1,500,000	1,642,127	142,127
研究会会議費	1,500,000	1,623,637	123,637
その他	0	18,490	18,490
旅費交通費	1,500,000	1,220,266	△279,734
研究会会員旅費交通費	1,260,000	951,039	△308,961
その他	240,000	269,227	29,227
通信運搬費	21,000	17,840	△3,160
経常費用計	7,121,640	6,970,355	△151,285
評価損益等調整前当期経常増減額	△7,121,640	△6,970,355	151,285
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△7,121,640	△6,970,355	151,285

経常費用は 697 万円で、予算比△15 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 旅費交通費等が想定を下回ったこと（△30 万円）、また、会議費等が想定を上回ったこと（+15 万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会では、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働のあり方を追究しており、当事業年度は6回開催いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修のコンテンツに活用しております。

	開催日	テーマ／講師
第26回	2019年 2月13日 (水)	老健施設において薬剤適正化につながる薬剤師の活動／丸岡 弘治（医療法人社団協友会 介護老人保健施設横浜あおばの里 薬剤部）
第27回	2019年 4月10日 (水)	認知症を取り巻く薬物療法の諸問題について—薬剤師に期待される地域包括ケアにおける職能—／鈴木 裕介（名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 老年内科 准教授）
第28回	2019年 6月12日 (水)	高齢者のがん薬物療法／安藤 雄一（名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 教授）
第29回	2019年 8月7日 (水)	非がん疾患を含めた包括的なエンドオブライフについて／会田 薫子（東京大学 大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授）
第30回	2019年 10月9日 (水)	老人保健施設の機能としての在宅復帰と薬剤調整／大河内 二郎（公益社団法人全国老人保健施設協会 常務理事）
第31回	2019年 12月11日 (水)	Pharmaco-frailty～進化するポリファーマシーの考え方～／竹屋 泰（大阪大学 大学院医学系研究科 老年・総合内科学 講師）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	秋下 雅弘	東京大学 大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 教授／東京大学医学部附属病院 老年病科 教授
副座長	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門 教授
副座長	鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 准教授
副座長	水上 勝義	筑波大学 大学院人間総合科学研究科 スポーツ健康システム・マネジメント専攻長 教授
会員	飯島 勝矢	東京大学高齡社会総合研究機構 副機構長 執行委員 教授
会員	五十嵐 中	東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学 特任准教授
会員	石崎 達郎	東京都健康長寿医療センター研究所/福祉と生活ケア研究チーム 研究部長
会員	牛田 誠	名城大学 薬学部 臨床薬学教育・研究推進センター 実践薬学Ⅱ 准教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	大嶋 繁	城西大学 薬学部 薬学科 准教授
会 員	大谷 道輝	公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 診療技術部長 薬剤科長／東京薬科大学 客員教授
会 員	大田 秀隆	秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長
会 員	大屋 亜希子	一般社団法人サードパス（愛称：医療“学び場”創造機構）代表理事
会 員	岡崎 光洋	東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学講座 特任研究員／一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事
会 員	恩田 光子	大阪薬科大学 社会薬学・薬局管理学研究室 教授
会 員	川添 哲嗣	医療法人つくし会 南国病院 薬剤部長
会 員	金澤 幸江	一般社団法人土浦薬剤師会 会長
会 員	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授
会 員	亀井 美和子	日本大学 薬学部 薬事管理学研究室 教授
会 員	岸本 桂子	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座社会薬学部門 准教授
会 員	小島 太郎	東京大学医学部附属病院 老年病科 助教
会 員	後藤 恵子	東京理科大学 薬学部 薬学科 健康心理学研究室 教授
会 員	佐藤 啓	公益財団法人日本薬剤師研修センター 常務理事
会 員	柴田 ゆうか	広島大学病院 医療安全管理部 専任リスクマネジャー 薬剤主任 日本医療薬学会指導薬剤師
会 員	杉浦 伸一	同志社女子大学 薬学部 教授
会 員	鈴木 匡	名古屋市立大学 薬学部 薬学科 臨床薬学教育研究センター 教授
会 員	清野 敏一	帝京平成大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
会 員	成井 浩二	東京薬科大学 薬学部 一般用医薬品学教室
会 員	西岡 達也	神戸大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長
会 員	浜田 将太	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 主任研究員
会 員	伴 信太郎	愛知医科大学 医学教育センター センター長 特任教授
会 員	平井 みどり	兵庫県赤十字血液センター長
会 員	福島 紀子	慶応義塾大学 薬学部 名誉教授／一般社団法人慶應義塾大学薬学部K P会 副会長

役名	氏名	所属・役職
会員	福田 八寿絵	鈴鹿医療科学大学 医療人底力教育センター 副センター長
会員	舩津 久美	社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会 薬剤検査料長
会員	古田 勝経	医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 特任研究員)
会員	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー
会員	舩本 祥一	筑波大学附属病院 地域総合診療医学 講師
会員	真野 泰成	東京理科大学 薬学部 薬学科 准教授
会員	丸岡 弘治	医療法人社団協友会 介護老人保健施設横浜あおぼの里
会員	溝神 文博	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部 / 日本褥瘡学会認定褥瘡薬剤師
会員	八木原 栄	東京都立神経病院 薬剤科
会員	山浦 克典	慶応義塾大学 薬学部 教授
会員	山中 崇	東京大学医学部在宅医療学拠点 特任准教授
会員	吉尾 隆	東邦大学 薬学部 医療薬学教育センター 臨床薬学研究室 教授 薬学博士 精神科専門薬剤師
会員	杉浦 昭子	公益財団法人杉浦記念財団 理事長
オブザーバー	浅井 文和	朝日新聞社 東京本社 科学医療部 編集委員
オブザーバー	池野 敬	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 研究企画推進部 データ管理室
オブザーバー	熊木 良太	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 助教
オブザーバー	小西 公子	東京都立東部療育センター 薬剤検査科 薬剤係長
オブザーバー	寺崎 省子	朝日新聞社 東京本社 科学医療部 記者
オブザーバー	根本 英一	株式会社南山堂 「薬局」編集部 編集長
オブザーバー	野出 典子	株式会社ベネッセホールディングス 介護・保育カンパニー地域連携本部 看護職員
オブザーバー	古川 晶彦	株式会社南山堂 編集部 編集長
オブザーバー	間宮 郁子	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部
オブザーバー	宮崎 さやか	静岡県公立大学法人静岡県立大学 大学院薬食生命科学総合学府
オブザーバー	吉田 学	厚生労働省 大臣官房審議官 (医療介護連携担当)

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 B）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	3,090,000	3,576,952	486,952
消耗品費	0	3,300	3,300
印刷製本費	12,000	0	△12,000
その他	12,000	0	△12,000
諸謝金	660,000	660,000	0
セミナー講師謝礼	480,000	480,000	0
その他	180,000	180,000	0
租税公課	180,000	235,571	55,571
会議費	1,500,000	1,503,274	3,274
研究会会議費	1,500,000	1,493,074	△6,926
その他	0	10,200	10,200
旅費交通費	720,000	1,151,468	431,468
研究会会員旅費交通費	480,000	837,186	357,186
その他	240,000	314,282	74,282
通信運搬費	18,000	23,339	5,339
経常費用計	3,090,000	3,576,952	486,952
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,090,000	△3,576,952	△486,952
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△3,090,000	△3,576,952	△486,952

経常費用は 358 万円で、予算比 +49 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 旅費交通費、租税公課等が想定を上回ったこと（+50 万円）、また、印刷製本費が想定を下回ったこと（△1 万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会では、「これから生まれてくる人のために 2060 年までをどうデザインするか」をテーマに、その「プラットフォーム」を策定するに際して、問題点を明確にしたうえで、その解決方法を追究しており、当事業年度は 10 回開催いたしました。各回の概要は、以下のとおりです。

	開催日	テーマ／講師
第 7 回	2019 年 1 月 11 日 (金)	自治体戦略 2040 構想～人口減少・超高齢社会における自治体の行政経営改革～／植田 昌也（総務省 自治行政局 行政経営支援室長 2040 戦略室長）
第 8 回	2019 年 2 月 8 日 (金)	デジタル社会の羅針盤／ 太田 直樹（株式会社 New Stories 代表）
第 9 回	2019 年 3 月 8 日 (金)	2040 年さらには 2060 年の私たち—汎用 AI、BI そして自由な単独者／大貫 徹（名古屋工業大学 名誉教授・日本福祉大学 客員教授） 2060 年を考える一つの基本線—社会科学から見た AI と BI／後 房雄（名古屋大学 大学院法学研究科 教授）
第 10 回	2019 年 4 月 13 日 (土)	長時間ディスカッション ①労働力、インフラの問題 ②家族・健康の在り方（どう生きるか、死生観、働く価値） ③地域差について
第 11 回	2019 年 5 月 10 日 (金)	発表会 2040 年 & 2060 年の暮らし方イメージシート
第 12 回	2019 年 6 月 14 日 (金)	グループ発表 ①人口動態 ②AI・テクノロジーの予測～仕事～ ③AI・テクノロジーの予測～生活(特に医療・福祉)～
第 13 回	2019 年 8 月 9 日 (金)	長生きを喜べるまちづくりシンポジウムの内容確認、リハーサル
第 14 回	2019 年 10 月 11 日 (金)	長生きを喜べるまちづくりシンポジウムの反省会
第 15 回	2019 年 11 月 8 日 (金)	次世代チームで今後の研究テーマを考える
第 16 回	2019 年 12 月 13 日 (金)	今後の研究テーマの検討

また、第 4 回長生きを喜べるまちづくりシンポジウムを開催いたしました。概要は、次頁のとおりです。

長生きを喜べる まちづくりシンポジウム ～2040年・2060年に向けて～

第4回 未来の生き方改革

9/20 金

開場 17:30

開催挨拶

杉浦 昭子
公益財団法人
杉浦記念財団 理事長
森 貞述
NPO法人地域ケア政策ネットワーク理事
元愛知県美浜市長

入場無料
先着800名様
ご招待!
お土産付き!

18:20～20:30

開演 18:20

来賓祝辞
(予定)

大村 秀章
愛知県知事

ゲスト講演 18:35～19:05

セカンドキャリアについて



演者 岩瀬 仁紀
スポーツコメンテーター
元中日ドラゴンズ選手

座長 山本 保
元参議院議員・総務大臣政務官
元厚生省児童福祉専門官

シンポジウム 19:05～20:25

研究会について

大島 伸一

愛知県地域再生・まちづくり研究会 座長、
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長、
日本福祉大学 常務理事



少子高齢社会・AI時代の働き方、暮らし方

座長 後 房雄
大貫 徹

愛知大学 地域政策学部 教授
名古屋大学 名誉教授
国際ファッション専門学校 大学教授
名古屋工業大学 名誉教授

コメンテーター

石田 芳弘
長谷川 敏彦

至学館大学 コミュニケーション研究所 所長
元大山市長
一般社団法人 未来医療研究機構 代表理事

研究会 次世代チームが考える100歳人生

青山 幸一

豊根村 農林土木課 課長

長谷川 友紀

コミュニティ・コース・バンクmomo 副代表理事

三矢 勝司

NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた 事務局次長

若杉 玲子

長久手市 総合政策課 課長

西岡 麻知子

南医療生協 地域ささえあいセンター部長
リハビリテーション部長

岩岡 ひとみ

NPO法人 全国福祉美容師養成協会（ふくりび） 事務局長

都築 晃

藤田医科大学地域包括ケア中核センター
医学博士理学療法士

日渡 健介

一般社団法人 未来医療研究機構

20:25～20:30

閉会挨拶

安井 俊夫

愛知総合看護福祉専門学校
もりのがくえん 校長、
元愛知県教育長

会場 ウィンクあいち 2階大ホール

T450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
●(JR)地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より JR名古屋駅南口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分 エニモール地下街 5階出口 徒歩2分
※長良川を渡り徒歩10分

応募方法は3通り

[応募締切] 2019年9月14日(土) 当日締め有り WEB・FAXは23:59まで

FAX

チラシ裏面の申込票に必要事項を記入の上、下記FAX番号までお送りください。

FAX番号
0562-45-2732

WEB

下記URLまたはQRコードよりアクセスの上、必要事項を入力してご応募ください。

お申し込み期間 募集
http://sugi-zaiden.jp/



郵便ハガキ

下記必要事項を郵便ハガキに印刷の上、郵便にてご応募ください。

[応募票] ①お名前 ②住所 ③代表者氏名 ④伊知入氏(代表者)の
⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号
〒474-0011 愛知県名古屋市瑞穂区新江62番地の1
社会福祉財団「まちづくりシンポジウム」事務局

内札



【個人情報の取り扱いについて】お申し込みを通じてお集まりの応募いただいた個人情報は、お申し込み目的のみに利用いたします。

主催 公益財団法人 杉浦記念財団

後援 愛知県、名古屋市、公益社団法人愛知県商工振興会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、中日新聞

お問い合わせ先 「まちづくりシンポジウム」事務局 〒474-0011 愛知県名古屋市瑞穂区新江62番地の1 TEL:0562-45-2731 (AM10:00～PM5:00 土・日・祭・休日除く平日)

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
アドバイザー	後 房雄	愛知大学 地域政策学部 教授／名古屋大学 名誉教授
アドバイザー	大貫 徹	名古屋工業大学 名誉教授／国際ファッション専門職大学 教授
アドバイザー	長谷川 敏彦	一般社団法人未来医療研究機構 代表理事
会員	青山 幸一	豊根村役場 農林土木課長
会員	岩岡 ひとみ	特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会(NPOふくりび) 事務局長
会員	大家 利之	中京大学 スポーツ科学部 競技スポーツ科学科 准教授／中京大学体育会 サッカー部 女子 監督
会員	都築 晃	藤田医科大学地域包括ケア中核センター 医学博士 理学療法士
会員	西岡 麻知子	南医療生協地域ささえあいセンター 部長 リハビリテーション部長 理学療法士
会員	長谷川 友紀	コミュニティ・ユース・バンク momo 副代表理事
会員	日渡 健介	一般社団法人未来医療研究機構
会員	三矢 勝司	特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた 事務局次長
会員	若杉 玲子	長久手市役所 総合政策課長
オブザーバー	青野 修一	愛知医科大学 医学部 疼痛データマネジメント寄附講座 講師
オブザーバー	石田 芳弘	至学館大学 コミュニケーション研究所 所長 (元 愛知県犬山市長)
オブザーバー	植羅 哲也	愛知県 福祉局 介護推進監
オブザーバー	大沢 勝	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 名誉会長／ 日本福祉大学 名誉総長
オブザーバー	大森 雅弥	中日新聞 編集局 編集委員
オブザーバー	北川 薫	梅村学園 学事顧問 (元 中京大学 学長)／梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議 議長
オブザーバー	小林 弘和	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室 室長補佐
オブザーバー	今野 直明	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室長
オブザーバー	丹羽 則雄	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 企画室長
オブザーバー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事 (元愛知県高浜市長)
オブザーバー	安井 俊夫	愛知総合看護福祉専門学校もりのがくえん 校長 (元 愛知県教育長)

役名	氏名	所属・役職
オブザーバー	山本 保	元 参議院議員・総務大臣政務官／ 元 厚生省児童福祉専門官

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書 (調査・研究事業 C)

科目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	8,831,160	6,268,021	△2,563,139
消耗品費	0	6,345	6,345
印刷製本費	2,944,500	241,280	△2,703,220
その他	2,944,500	241,280	△2,703,220
諸謝金	1,890,000	1,501,136	△388,864
セミナー講師謝礼	1,320,000	1,100,000	△220,000
その他	570,000	401,136	△168,864
支払手数料	20,000	0	△20,000
その他	20,000	0	△20,000
租税公課	514,160	379,184	△134,976
広告宣伝費	600,000	54,836	△545,164
会議費	1,315,000	2,223,178	908,178
研究会会議費	765,000	1,100,606	335,606
セミナー会議費用	550,000	984,513	434,513
その他	0	138,059	138,059
旅費交通費	1,450,000	1,716,590	266,590
研究会会員旅費交通費	1,400,000	1,697,881	297,881
その他	50,000	18,709	△31,291
通信運搬費	97,500	145,472	47,972
経常費用計	8,831,160	6,268,021	△2,563,139
評価損益等調整前当期経常増減額	△8,831,160	△6,268,021	2,563,139
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△8,831,160	△6,268,021	2,563,139

経常費用は 627 万円で、予算比△256 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ 報告集の作成を見送ったことにより、印刷製本費、支払手数料が予算を下回ったこと (△272 万円)
- ▶ シンポジウムの出席者にお土産を配布することとしたことや、研究会で長時間ディスカッションを行ったこと等により、会議費、旅費交通費等が予算を上回ったこと (+123 万円)、また、諸謝金、広告宣伝費、租税公課が想定を下回ったこと (△107 万円)

D. 健康寿命延伸と介護予防を考える会

健康寿命延伸と介護予防を考える会では、70歳以降に要介護状態になることなく、可能な限り長く自立して生きていくために、今後の我が国での健康寿命の延伸方策を模索しており、当事業年度は3回開催いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修のコンテンツに活用しております。

	開催日	テーマ／講師
第14回	2019年 7月25日 (木)	健康寿命の延伸は可能か？／ 近藤 克則（千葉大学予防医学センター 教授／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学・評価研究部 部長／日本福祉大学 客員教授） 下方 浩史（名古屋学芸大学健康・栄養研究所 所長） 久野 幸信（大府市役所 総務部）
第15回	2019年 9月26日 (木)	介護予防の効果的方策は本当にあるか？／ 土井 剛彦（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部 健康増進研究室 室長） 下方 浩史（名古屋学芸大学健康・栄養研究所 所長） 藤田 正之（医療法人仁医会 理事 西尾市地域包括支援センター西尾 センター長）
第16回	2019年 11月28日 (木)	在宅医療での薬剤師のあり様をどう考えるか？／ 鈴木 裕介（名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 病院准教授） 岡崎 光洋（東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学講座 特任研究員／一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事） 溝神 由美子（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部） 酒向 佑也（貴船グループ連華 つぼ川薬局）

当該考える会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	鈴木 隆雄	桜美林大学 老年学総合研究所 所長 大学院 教授／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐
アドバイザー	近藤 克則	千葉大学予防医学センター 教授／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学・評価研究部 部長／日本福祉大学 客員教授
会員	阿部 友和	株式会社フィジカルイノベーションズ 代表取締役社長／星城大学 リハビリテーション学部 非常勤講師・研究員
会員	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
会員	磯貝 恵美	西尾市役所 健康福祉部 長寿課

役名	氏名	所属・役職
会 員	稲垣 毅	一般社団法人愛知県作業療法士会 会長／愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院
会 員	稲葉 静代	岐阜保健所長
会 員	今田 英己	学校法人電波学園 あいちビジネス専門学校 教諭 医学博士
会 員	江口 澄子	公益社団法人愛知県栄養士会 副会長／鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療栄養学科 特任准教授／ 特定非営利活動法人 LET'S 食の絆 副理事長
会 員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	大浦 智子	奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 教授
会 員	大田 康博	日本福祉大学 大学院医療・福祉マネジメント研究科 実務家教員／株式会社 QOL84 プラス 代表取締役社長
会 員	岡田 希和子	名古屋学芸大学 管理栄養学部 教授
会 員	岡崎 光洋	東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学講座 特任研究員／一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事
会 員	加藤 文之	公益社団法人愛知県理学療法士会 副代表理事／名古屋学院大学 リハビリテーション学部 教授
会 員	北川 美香	大府市役所 企画政策部 健康都市推進局 健康都市推進課 健康都市推進係 統括係長（保健師）
会 員	久野 倫太郎	大府市役所 企画政策部 健康都市推進局 健康都市推進課 健康都市推進係 主査
会 員	熊谷 琴美	医療法人正翔会 正翔会クリニック江南 管理栄養士
会 員	越野 弘幸	西尾市役所 健康福祉部 長寿課 地域支援事業
会 員	酒向 佑也	貴船グループ連華 つぼ川薬局
会 員	澤登 久雄	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長／おおた高齢者見守りネットワーク 発起人
会 員	佐々木 直子	中村保健センター 保健予防課
会 員	島田 裕之	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター長 予防老年学研究部長
会 員	下方 浩史	名古屋学芸大学健康・栄養研究所 教授
会 員	白石 成明	日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 教授
会 員	杉浦 あゆみ	碧南市役所 健康推進部 高齢介護課 地域支援係
会 員	杉浦 洋子	碧南市役所 健康推進部 高齢介護課 地域支援係

役名	氏名	所属・役職
会 員	鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 病院准教授
会 員	武地 一	藤田医科大学 医学部 認知症・高齢診療科 教授
会 員	都築 晃	藤田医科大学地域包括ケア中核センター 医学博士 理学療法士
会 員	都築 真哉	社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長
会 員	土井 剛彦	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部 健康増進研究室長
会 員	中村 博	大府市役所 企画政策部 健康都市推進局 健康都市推進課長
会 員	中村 了	医療法人瑞心会 渡辺病院 副院長 診療統括部長
会 員	野田 幸裕	名城大学 薬学部 教授
会 員	野々山紗矢果	藤田医科大学地域包括ケア中核センター 主任 理学療法士
会 員	福田 嘉彦	名古屋市役所 健康福祉局 高齢福祉部 地域ケア推進課 主査
会 員	藤川 隆彦	鈴鹿医療科学大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	藤田 正之	医療法人仁医会 理事 西尾市地域包括支援センター 西尾 センター長
会 員	牧 陽子	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター 研修開発研究室長
会 員	溝神 由美子	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部
会 員	宮國 康弘	千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門 特任研究員
会 員	武藤 英夫	株式会社ジャパンライフデザインシステムズ マーケティングディビジョンセルフドクタークラブ プロデューサー
会 員	村瀬 文康	愛知県言語聴覚士会 地域リハビリテーション委員会 会 理事
会 員	百瀬 由美子	愛知県立大学 看護学部 看護学研究科
会 員	森下 志穂	愛知県歯科衛生士会 理事／名古屋医健スポーツ専門学校 教務部 歯科衛生科 専任教員 歯科衛生士
会 員	山田 清文	名古屋大学 大学院医学系研究科 医療薬学・医学部 附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長
会 員	横山 茂紀	名古屋市役所 健康福祉局 高齢福祉部 地域ケア推進課 課長

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 D）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	6,466,080	986,536	△5,479,544
消耗品費	0	3,538	3,538
印刷製本費	2,952,000	0	△2,952,000
その他	2,952,000	0	△2,952,000
諸謝金	960,000	360,000	△600,000
セミナー講師謝礼	480,000	270,000	△210,000
その他	480,000	90,000	△390,000
支払手数料	20,000	0	△20,000
その他	20,000	0	△20,000
租税公課	430,080	49,063	△381,017
広告宣伝費	600,000	0	△600,000
会議費	1,090,000	383,597	△706,403
研究会会議費	540,000	378,897	△161,103
セミナー会議費用	550,000	0	△550,000
その他	0	4,700	4,700
旅費交通費	366,000	177,219	△188,781
研究会会員旅費交通費	360,000	159,283	△200,717
その他	6,000	17,936	11,936
通信運搬費	48,000	13,119	△34,881
経常費用計	6,466,080	986,536	△5,479,544
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,466,080	△986,536	5,479,544
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△6,466,080	△986,536	5,479,544

経常費用は 99 万円で、予算比△548 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 公開シンポジウムを大ホールにて 1 回開催することを想定していたものの、規模を縮小して会議室にて複数回開催することとしたことにより、これらに係る印刷製本費、広告宣伝費、会議費、通信運搬費を抛出しなかったこと（△162 万円）
- 上記に伴い、報告集の作成を見送ったことにより、これに係る印刷製本費、支払手数料を抛出しなかったこと（△252 万円）
- 研究会の開催を 6 回計画していたものの、諸事情により 3 回となったことにより、印刷製本費、諸謝金、旅費交通費、租税公課が予算を下回ったこと（△134 万円）

(3) 講座・セミナー事業（一般対象）（公3）

講座・セミナー事業（一般対象）では、定款第4条第1項第6号に定める「その他前条の目的を達成するために必要な事業」として、主に一般の方を対象としたセミナー等を以下のとおり実施いたしました。

A. 健康増進セミナー

健康増進セミナーでは、関東・中部・関西の主要都市にて、体組成・骨密度・血管年齢等の測定、健康相談、講演会を株式会社スギ薬局の協賛にて実施しており、当事業年度は5回開催いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

セミナー	開催日	テーマ／講師	参加人数
健康増進 セミナー in 東京	2019年 1月12日 (土)	『在宅医療って?』～療養生活と終活を一 緒に考える～/ 島田 潔 (板橋区役所前診療所 院長)	250名
健康増進 セミナー in 大阪	2019年 2月3日 (日)	日本人のための病気にならない食事術/ 石黒 伸 (医療法人アクア アクアメディカ ルクリニック 理事長)	620名
健康増進 セミナー in 兵庫	2019年 4月27日 (土)	地域で人生を最後まで過ごすには/山口 高秀 (医療法人おひさま会 理事長 やまぐ ちクリニック 院長) 楽に過ごせるカラダに/橋本 武志 (コナ ミスポーツクラブ 神戸支店長)	550名
健康増進 セミナー in 埼玉	2019年 7月14日 (日)	住み慣れた我が家・地域で自分らしく暮ら し続けるための在宅医療/矢澤 聡 (医療 法人慶聴会 矢澤クリニック 理事長) 楽に過ごせるカラダに/町田 知之 (コナ ミスポーツクラブ フィットネスマネー ジャー)	545名
健康増進 セミナー in 京都・ 滋賀	2019年 9月23日 (月)	善くいきいきるために～在宅緩和ケアっ て何?～/渡辺 剛 (渡辺緩和ケア・在宅 クリニック 院長) 楽に過ごせるカラダに/和田 真 (コナミ スポーツクラブ伏見 ダイエットプログラ ムディレクター)	566名

なお、国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの監修により作成した介護予防・認知症予防のためのリフレッシュ運動 DVD の無料贈呈は、在庫が僅かとなったため、セミナーでの申込みは2019年1月をもって受付を終了し、以後は個別に希望があれば在庫がある限り対応することとしております。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般対象）A）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	2,114,440	2,014,390	△100,050
消耗品費	0	341	341
諸謝金	600,000	500,000	△100,000
セミナー講師謝礼	600,000	500,000	△100,000
租税公課	13,440	14,028	588
広告宣伝費	0	60,000	60,000
会議費	48,000	33,572	△14,428
セミナー会議費用	48,000	33,572	△14,428
旅費交通費	120,000	49,357	△70,643
セミナー講師旅費交通費	60,000	25,456	△34,544
その他	60,000	23,901	△36,099
通信運搬費	0	24,091	24,091
減価償却費	1,333,000	1,333,000	0
雑費	0	1	1
経常費用計	2,114,440	2,014,390	△100,050
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,114,440	△2,014,390	100,050
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,114,440	△2,014,390	100,050

経常費用は 201 万円で、予算比△10 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 健康増進セミナーに係る予算を予備的 1 回多く計上していたこと等により、諸謝金、会議費、旅費交通費が予算を下回ったこと（△19 万円）
- 広告宣伝費（募集サイト保守費用）、通信運搬費等の予算を計上していなかったこと（+9 万円）

B. 認知症医療介護推進フォーラム

認知症医療介護推進フォーラムでは、国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの主催、当財団の共催のもと、認知症予防・治療の知識や、認知症への理解を深めることに資する講演、討論等を実施しており、当事業年度は大阪市にて開催いたしました。

概要は、以下のとおりです。なお、これにて一旦終了となります。



第6回 認知症医療介護推進フォーラム

入場無料 抽選:350名
抽選は12月15日(日)19時開始

これからの認知症施策

～本人、家族にとって、本当に必要なもの～

2019年2月17日(日) 開演 10:00 (開場 9:30) YMCA国際文化センター(大阪)
→近隣の地図をご確認ください。

<p>10:00 開会挨拶</p> <p>来賓挨拶</p>	<table border="0"> <tr> <td style="width: 15%;">藤原 研二</td> <td style="width: 15%;">国立長寿医療研究センター 理事長</td> </tr> <tr> <td>杉浦 昭子</td> <td>杉浦記念財団 理事長</td> </tr> <tr> <td>江津 和彦</td> <td>日本医師会 常任理事</td> </tr> <tr> <td>沢村 汎人</td> <td>大阪府医師会 会長</td> </tr> <tr> <td>栗生 晋次</td> <td>日本老年医学会 理事</td> </tr> <tr> <td>小玉 周</td> <td>日本歯科医師会 理事</td> </tr> </table>	藤原 研二	国立長寿医療研究センター 理事長	杉浦 昭子	杉浦記念財団 理事長	江津 和彦	日本医師会 常任理事	沢村 汎人	大阪府医師会 会長	栗生 晋次	日本老年医学会 理事	小玉 周	日本歯科医師会 理事	
藤原 研二	国立長寿医療研究センター 理事長													
杉浦 昭子	杉浦記念財団 理事長													
江津 和彦	日本医師会 常任理事													
沢村 汎人	大阪府医師会 会長													
栗生 晋次	日本老年医学会 理事													
小玉 周	日本歯科医師会 理事													
<p>10:20 講演</p>	<p>最新の認知症施策の動向</p> <p>田中 朋徳 厚生労働省地域保健課認知症対策推進室 室長</p>													
<p>11:00 シンポジウム1</p>	<p>認知症の人を支える医療・介護の展開(仮題)</p> <p>座長: 船本 寿子 日本看護協会 常任理事 座長: 岡田 浩一 日本認知症ケア学会 理事</p> <p>シンポジスト: 藤田 和子 日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事 初岡 謙から、新たな人生を盛りだすために 認知症の人と家族の会 代表理事 認知症の人と家族の初期の暮らしと必要な支援 船本 晋次 日本認知症ケア学会 常任理事 認知症の人と家族の会 代表理事 藤田 和子 日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事 認知症ケアの拠点としてグループホーム</p>													
<p>12:30-14:00 昼食休憩</p>														
<p>14:00 シンポジウム2</p>	<p>認知症医療の最新情報 ～開成と連携から～</p> <p>座長: 有澤 良二 日本認知症ケア学会 常任理事 座長: 渡辺 俊介 慶應義塾大学大学院 教授</p> <p>シンポジスト: 柳澤 厚彦 国立長寿医療研究センター 研究部長 アルツハイマー病の早期発見バイオマーカーの応用について 船本 良彦 認知症医療の最新情報 研究部門員 認知症医療の最新情報 ～開成と連携から～ 柳井 孝 国立長寿医療研究センター センター長 認知症のアセスメント 認知症の診断はあるのか 三原 浩一郎 全日本介護支援協会 副会長 認知症高齢者福祉リハビリテーションの紹介 栗田 厚夫 日本認知症ケア学会 常任理事 成年後見制度と認知症の支援の在り方</p>													
<p>15:30 閉会挨拶</p>	<p>藤原 研二 全日本病院協会 名誉会長</p>													

主催 国立長寿医療研究センター、認知症医療介護推進委員会
共催 杉浦記念財団
協賛 大阪府医師会、厚生労働省、国立精神・神経医療研究センター、全国老人福祉施設振興会、全国老人保健施設協会、全日本病院協会、日本看護協会、日本介護支援専門員協会、日本介護福祉士会、日本看護協会、日本認知症ケア学会、日本認知症グループホーム協会、日本認知症ケア学会、日本認知症本人ワーキンググループ、日本認知症ケア学会、日本認知症グループホーム協会、日本認知症ケア学会、日本老年医学会、日本老年精神医学会、認知症介護研究・研修センター、認知症の人と家族の会

(五十名程度)

日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士単位 認定:3単位

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般対象）B）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,320,720	1,648,733	328,013
消耗品費	0	1,798	1,798
印刷製本費	441,000	411,875	△29,125
その他	441,000	411,875	△29,125
諸謝金	150,000	115,000	△35,000
セミナー講師謝礼	150,000	115,000	△35,000
租税公課	86,720	113,602	26,882
広告宣伝費	15,000	4,106	△10,894
会議費	278,000	622,000	344,000
セミナー会議費用	278,000	622,000	344,000
旅費交通費	340,000	354,482	14,482
セミナー講師旅費交通費	240,000	195,116	△44,884
その他	100,000	159,366	59,366
通信運搬費	10,000	25,870	15,870
経常費用計	1,320,720	1,648,733	328,013
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,320,720	△1,648,733	△328,013
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,320,720	△1,648,733	△328,013

経常費用は165万円で、予算比+33万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 製薬メーカーによる会場費負担がなくなったこと等により、会議費が予算を上回ったこと（+34万円）
- 旅費交通費、通信運搬費、租税公課等が想定を上回ったこと（+6万円）、また、印刷製本費、諸謝金、広告宣伝費が想定を下回ったこと（△8万円）

C. 高齢者とくすりのフォーラム

高齢者とくすりのフォーラムでは、医薬品、サプリメント等の適正使用への理解を深めることに資する講演、討論等を実施しており、当事業年度は名古屋市にて開催いたしました。

概要は、以下のとおりです。

2019年9月29日 日

開場 13:00 開演 14:00～16:00

今池ガスホール
愛知県名古屋市千種区今池 1-8-8

抽選受付券 入場無料 券350円ご招待

司会進行
林 ともみ



現在、ラジオパーソナリティ等で活躍され、心のバリアフリーを発信中

開会のあいさつ
14:00



公益財団法人 杉浦記念財団 理事 杉浦 昭子

健康長寿のための正しいお薬の飲み方を考える
14:05～15:00



国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長 **荒井 秀典**

**ポリファーマシーって知っていますか？
～高齢者が気をつけたい多すぎるくすりと副作用～**
15:05～16:00



国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤師 **溝神 文博**

※薬剤師のご参加には、日本薬剤師研修センター受講シール1単位発行します

応募方法は3通り

FAX

〒474-0011 愛知県名古屋市千種区今池1-8-8
FAX番号 **0562-45-2732**

WEB

http://sugl-zaidan.jp/

郵便ハガキ

〒474-0011 愛知県名古屋市千種区今池1-8-8
FAX番号 **0562-45-2732**

【個人情報の取り扱いについて】お申し込みを頂いてお申し込みの受付、申し込みの受付、申し込みの受付、申し込みの受付を行います。

主催 公益財団法人 杉浦記念財団 後援 名古屋市、一社団法人 日本薬剤師会、公益財団法人 日本薬剤師会、公益財団法人 日本薬剤師会、公益財団法人 日本薬剤師会

お問い合わせ先 名古屋コンベンションセンター 電話 7474-0011 愛知県名古屋市千種区今池1-8-8 TEL:0562-45-2731 FAX:0562-45-2732 土・日・祭日を除く平日

第1回 高齢者とくすりのフォーラム
 薬との正しい付き合い方をわかりやすくお話しします

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般対象）C）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,320,720	1,171,209	△149,511
印刷製本費	441,000	250,349	△190,651
その他	441,000	250,349	△190,651
諸謝金	150,000	130,000	△20,000
セミナー講師謝礼	150,000	130,000	△20,000
租税公課	86,720	77,422	△9,298
広告宣伝費	15,000	87,806	72,806
会議費	278,000	563,960	285,960
セミナー会議費用	278,000	563,960	285,960
旅費交通費	340,000	3,379	△336,621
セミナー講師旅費交通費	240,000	1,834	△238,166
その他	100,000	1,545	△98,455
通信運搬費	10,000	58,293	48,293
経常費用計	1,320,720	1,171,209	△149,511
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,320,720	△1,171,209	149,511
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,320,720	△1,171,209	149,511

経常費用は 117 万円で、予算比△15 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 広告宣伝費、会議費、通信運搬費が想定を上回ったこと（+41 万円）、また、印刷製本費、旅費交通費等が想定を下回ったこと（△56 万円）

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

講座・セミナー事業（専門家対象）では、定款第4条第1項第3号に定める「医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成事業」として、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」を実施いたしました。

当該研修では、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することができる薬剤師の育成に資する講座を開設しており、当該研修の受講により、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することができます。なお、当事業年度末日現在の提供講座数は107講座、登録受講者数は2,498名です。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	3,000,000	1,860,563	△1,139,437
研修事業会費	3,000,000	1,860,563	△1,139,437
経常収益計	3,000,000	1,860,563	△1,139,437
(2) 経常費用			
事業費	4,709,956	5,320,910	610,954
消耗品費	0	1,410	1,410
印刷製本費	1,100,000	1,950,000	850,000
教材撮影編集費	1,100,000	1,950,000	850,000
諸謝金	750,000	0	△750,000
セミナー講師謝礼	750,000	0	△750,000
支払手数料	1,655,700	2,133,063	477,363
ID管理費	1,260,000	1,099,500	△160,500
日本薬剤師研修センター認定費	360,000	371,517	11,517
その他	35,700	662,046	626,346
租税公課	37,256	277,157	239,901
広告宣伝費	200,000	33,767	△166,233
会議費	100,000	6,334	△93,666
セミナー会議費用	100,000	0	△100,000
その他	0	6,334	6,334
旅費交通費	160,000	145,812	△14,188
その他	160,000	145,812	△14,188
通信運搬費	250,000	251,201	1,201
減価償却費	457,000	522,166	65,166
経常費用計	4,709,956	5,320,910	610,954
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,709,956	△3,460,347	△1,750,391
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,709,956	△3,460,347	△1,750,391

経常収益は186万円で、予算比△114万円となりました。主な要因は、研修認定薬剤師となるための研修への需要が落ち着いたためです。

また、経常費用は532万円で、予算比+61万円となりました。主な要因は、

以下のとおりです。

- ▶ 受講コンテンツ数を増加させたこと等により、印刷製本費、支払手数料、租税公課等が増加したこと（+164万円）、一方、協力企業による講師料負担があったことにより、諸謝金を計上しなかったこと（△75万円）
- ▶ 広告宣伝費、会議費等が想定を下回ったこと（△27万円）

（５）公益事業共通

公益事業共通には、公益事業に共通する収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（公益事業共通）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	44,602,620	44,602,620	0
基本財産受取利息振替額	98,620	98,620	0
基本財産受取配当金	44,504,000	44,504,000	0
受取寄付金	23,000,000	17,100,050	△5,899,950
受取寄付金	23,000,000	17,100,050	△5,899,950
経常収益計	67,602,620	61,702,670	△5,899,950
(2) 経常費用			
事業費	2,340,000	2,639,787	299,787
給料手当	2,340,000	2,639,787	299,787
経常費用計	2,340,000	2,639,787	299,787
評価損益等調整前当期経常増減額	65,262,620	59,062,883	△6,199,737
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	65,262,620	59,062,883	△6,199,737

経常収益は、6,170万円、予算比△590万円となりました。受取寄付金が予算を同額下回ったものの、企業91社から1,710万円の寄附を受けました。

また、経常費用は264万円、予算比+30万円となりました。給料手当が想定を上回りました。

(6) 一般事業

一般事業には、当財団の管理・運営に係る収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（一般事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	16,000,000	16,000,000	0
基本財産受取配当金	16,000,000	16,000,000	0
受取寄付金	2,000,000	0	△2,000,000
受取寄付金	2,000,000	0	△2,000,000
雑収益	98,620	308,985	210,365
受取利息	98,620	99,007	387
その他雑収益	0	209,978	209,978
経常収益計	18,098,620	16,308,985	△1,789,635
(2) 経常費用			
管理費	19,428,307	18,448,126	△980,181
役員等報酬	3,150,000	2,200,000	△950,000
評議員報酬	1,300,000	700,000	△600,000
理事報酬	1,450,000	1,100,000	△350,000
監事報酬	400,000	400,000	0
消耗品費	40,000	378,436	338,436
印刷製本費	1,186,400	2,735,420	1,549,020
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	339,008	311,285	△27,723
租税公課	396,855	567,961	171,106
給料手当	7,080,000	7,597,059	517,059
支払寄付金	3,680,000	886,027	△2,793,973
広告宣伝費	306,180	940,000	633,820
ホームページ関連費用	306,180	940,000	633,820
会議費	703,500	699,241	△4,259
旅費交通費	963,000	885,935	△77,065
評議員旅費交通費	400,000	305,953	△94,047
理事旅費交通費	450,000	321,589	△128,411
監事旅費交通費	63,000	58,717	△4,283
職員旅費交通費	50,000	199,676	149,676
通信運搬費	642,600	359,890	△282,710
電話料	102,000	99,275	△2,725
その他	540,600	260,615	△279,985
減価償却費	160,764	220,697	59,933
雑費	600,000	486,175	△113,825
その他	600,000	486,175	△113,825
経常費用計	19,428,307	18,448,126	△980,181
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,329,687	△2,139,141	△809,454
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,329,687	△2,139,141	△809,454

経常収益は、1,631万円で、予算比△179万円となりました。受取寄付金がなかったこと（△200万円）、雑所得（原稿料）があったこと（+21万円）が

主な要因です。

また、経常費用は 1,845 万円で、予算比△98 万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

- 役員等報酬、支払寄付金等が想定を下回ったこと（△425 万円）
- 印刷製本費、広告宣伝費（ホームページ関係）、給料手当等が想定を上回ったこと（+327 万円）

2. 決算の概況

(1) 正味財産増減計算書（決算報告書 2～3 頁）

一般正味財産増減の部では、経常収益 8,027 万円（前年度比△2,585 万円）に対し、経常費用は、事業費 7,009 万円（前年度比+209 万円）、管理費 1,845 万円（前年度比+414 万円）、合計 8,854 万円（前年度比+624 万円）でした。当期経常増減額は△827 万円（前年度比△3,208 万円）となり、当期一般正味財産増減額も△827 万円（前年度比△3,208 万円）となりました。その結果、一般正味財産期末残高は、期首残高 5,583 万円から△827 万円の 4,756 万円となりました。

指定正味財産増減の部では、基本財産運用益 10 万円に対し、一般正味財産への振替額 10 万円で、当期指定正味財産増減額はありませんでした。その結果、指定正味財産期末残高は、期首残高と同額の 208 億 4,791 万円となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は 208 億 9,547 万円（前年度比△827 万円）となりました。

正味財産増減計算書の要旨

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	80,272,556	106,119,200	△25,846,644
(2) 経常費用			
事業費	70,093,872	68,000,450	2,093,422
管理費	18,448,126	14,303,559	4,144,567
経常費用計	88,541,998	82,304,009	6,237,989
評価損益等調整前当期経常増減額	△8,269,442	23,815,191	△32,084,633
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△8,269,442	23,815,191	△32,084,633
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△8,269,442	23,815,191	△32,084,633
一般正味財産期首残高	55,830,726	32,015,535	23,815,191
一般正味財産期末残高	47,561,284	55,830,726	△8,269,442
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	98,620	98,620	0
基本財産受取利息	98,620	98,620	0
一般正味財産への振替額	△98,620	△98,620	0
基本財産受取利息振替額	△98,620	△98,620	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
指定正味財産期末残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
III 正味財産期末残高	20,895,471,656	20,903,741,098	△8,269,442

(2) 貸借対照表 (決算報告書 1 頁)

流動資産は、前年度比△741 万円の 3,556 万円となり、その主因は、現金預金が前年度比△813 万円となったことにあります。

固定資産は、前年度比△123 万円の 208 億 6,263 万円となり、インターネット研修サイトの機能強化等に 87 万円、償却による減少額が 210 万円であったことにあります。

以上の結果、資産合計は、前年度比△864 万円の 208 億 9,820 万円となりました。

流動負債は、前年度比△37 万円の 273 万円となり、固定負債に該当するものがないため、負債合計は流動負債と同額となります。

なお、資産負債の詳細につきましては、財産目録 (決算報告書 8 頁) に記載のとおりです。

貸借対照表の要旨

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	32,061,179	40,190,902	△8,129,723
その他の流動資産	3,503,816	2,786,934	716,882
流動資産合計	35,564,995	42,977,836	△7,412,841
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	20,847,929,982	20,847,941,362	△11,380
基本財産合計	20,847,929,982	20,847,941,362	△11,380
(3) その他固定資産			
什器備品	2,894,117	4,107,251	△1,213,134
ソフトウェア	1,789,946	1,782,876	7,070
投資有価証券	10,019,610	10,030,990	△11,380
その他固定資産合計	14,703,673	15,921,117	△1,217,444
固定資産合計	20,862,633,655	20,863,862,479	△1,228,824
資産合計	20,898,198,650	20,906,840,315	△8,641,665
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,704,418	2,559,400	145,018
その他の流動負債	22,576	539,817	△517,241
流動負債合計	2,726,994	3,099,217	△372,223
負債合計	2,726,994	3,099,217	△372,223
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	20,847,910,372	20,847,910,372	0
(うち基本財産への充当額)	20,847,910,372	20,847,910,372	0
2. 一般正味財産	47,561,284	55,830,726	△8,269,442
(うち基本財産への充当額)	19,610	30,990	△11,380
正味財産合計	20,895,471,656	20,903,741,098	△8,269,442
負債及び正味財産合計	20,898,198,650	20,906,840,315	△8,641,665

3. 法人の概況

(1) 設立日及び公益認定日

設立日及び公益認定日は、以下のとおりです。

- 設 立 日 2011年9月1日
- 公益認定日 2015年7月1日

(2) 主たる事務所の所在地

主たる事務所の所在地は、以下のとおりです。

- 愛知県大府市横根町新江 62 番地の 1

(3) 定款に定める目的

定款に定める目的は、以下のとおりです。

- 医学・薬学・看護学・社会福祉学の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者および介護福祉従事者の育成を支援することにより、地域医療を振興し、以って、国民とりわけ高齢者の健康と福祉の増進に寄与すること

(4) 定款に定める事業内容

定款に定める事業内容は、以下のとおりです。

- 地域医療の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- 地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画
- 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医学・薬学・看護学・社会福祉学・社会保障に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- その他前条の目的を達成するために必要な事業

(5) 役員

2019年12月31日現在の役員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
理事長	杉浦 昭子	スギホールディングス株式会社 相談役
理事	秋下 雅弘	東京大学 大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 教授／東京大学医学部附属病院 老年病科 教授
	井口 昭久	愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 教授／名古屋大学 名誉教授
	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
	杉浦 伸哉	スギホールディングス株式会社 取締役／株式会社スギ薬局 常務取締役 事業本部長
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
	中井 加代子	公益社団法人日本看護協会 監事／特定非営利活動法人看護の広場 理事長
	鍋島 俊隆	藤田医科大学 大学院医療科学専攻 先進診断システム探索研究部門 客員教授／特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 理事長／名古屋大学 名誉教授／アレクサンドル・イワン・クザ大学（ルーマニア）名誉教授
	野本 慎一	京都大学 名誉教授／一般社団法人電子連絡ノート協会 理事長
	久常 節子	元 公益社団法人日本看護協会 会長
	山村 恵子	藤田医科大学 医療科学部 先進診断システム探索部門 高度薬学情報管理学 教授
監事	神谷 誠	デトロイトトーマツ税理士法人 名古屋事務所 所長
	平野 晃	公認会計士／元 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー

(注) 五十音順で記載しております。

(6) 評議員

2019年12月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
評議員会長	杉浦 広一	スギホールディングス株式会社 代表取締役会長
評 議 員	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
	上野 桂子	社会福祉法人聖隷福祉事業団 監事／一般社団法人全国訪問看護事業協会 副会長
	木村 隆次	公益社団法人青森県介護支援専門員協会 副会長／一般社団法人青森県薬剤師会 会長
	葛谷 雅文	名古屋大学 大学院医学系研究科 発育・加齢医学講座 地域在宅医療学 老年科学分野 教授
	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 客員教授
	白澤 政和	国際医療福祉大学 大学院 教授
	杉浦 克典	スギホールディングス株式会社 代表取締役副社長／株式会社スギ薬局 代表取締役社長
	鈴木 匡	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野 教授
	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅財団 特別顧問／東京通信大学 教授
	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
	水流 聡子	東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 品質・医療社会システム工学寄付講座 特任教授
	豊田 百合子	大阪保健福祉専門学校 副学校長／元 公益社団法人大阪府看護協会 会長
伴 信太郎	愛知医科大学 医学教育センター センター長 特任教授	

(注) 五十音順で記載しております。

(7) 事務局組織

2019年12月31日現在における事務局組織は、以下のとおりです。

職員構成

事務局長	1名
企画グループ	2名
総務・経理グループ	3名

(8) 理事会

当事業年度に開催した理事会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2019年2月21日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2018年度（第4期）事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録承認の件 ・第4回定時評議員会招集の件
2019年3月14日 理事会	【決議事項】 ・理事長（代表理事）選定の件 ・第8回杉浦地域医療振興賞承認の件
2019年4月30日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・第8回杉浦地域医療振興助成実施の件
2019年5月14日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・臨時評議員会招集の件
2019年7月18日 理事会	【決議事項】 ・2019年度（第5期）事業計画書及び収支予算書補正の件 【報告事項】 ・業務執行状況報告の件
2019年12月5日 理事会	【決議事項】 ・2020年度（第6期）事業計画書及び収支予算書承認の件 ・第9回杉浦地域医療振興賞審査委員及び諮問委員並びに第9回杉浦地域医療振興助成選考委員選任の件 【報告事項】 ・業務執行状況報告の件

(9) 評議員会

当事業年度に開催した評議員会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2019年3月14日 第4回定時評議員会 （報告・決議の省略の方法による）	【報告事項】 ・2018年度（第4期）事業報告報告の件 【決議事項】 ・2018年度（第4期）計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 ・評議員12名選任の件 ・評議員会長選定の件 ・理事8名選任の件 ・監事2名選任の件
2019年7月18日 臨時評議員会	【決議事項】 ・2019年度（第5期）事業計画書及び収支予算書補正の件
2019年12月17日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2020年度（第6期）事業計画書及び収支予算書承認の件

以上

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しておりません。

2020 年 2 月

公益財団法人杉浦記念財団